

モバイルバッテリーの事故に注意しましょう！

モバイルバッテリーは、スマートフォンやタブレット等を充電できる予備の電源として、近年急速に普及しています。軽量でありながら高電圧、大電力であるため、取扱いを誤ると発熱によって火傷を負うこともあり、場合によっては事故に繋がります。

消費者庁の統計によると、平成 25 年から令和元年の間でモバイルバッテリーによる事故が 150 件以上起きています。当本部管内においても電源機器、電池、配線器具等の火災が発生しており、注意喚起及び事故防止啓発に努めています。

<参考画像>



例 1 高熱が原因で白煙が発生



例 2 発火し燃焼し始める



(画像提供・引用) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE

<事故防止のために>

- (1) リコール対象製品でないか、リコール情報を確認しましょう。
- (2) 新規に購入する際は、PSE マークを必ず確認しましょう。
- (3) 製品本体に強い衝撃、圧力を加えない、高温の環境に放置しないようにしましょう。
- (4) 充電中は周囲に可燃物を置かないようにしましょう。
- (5) 膨らんでいる、熱くなっている、変な臭いがするなど、いつもと違って異常を感じたら使用を中止しましょう。
- (6) 充電コネクタの破損や水ぬれに注意しましょう。
- (7) 公共交通機関での事故を避けるため、持込規則を確認して、それに従いましょう。
- (8) 使用済みモバイルバッテリーはリサイクルに出しましょう。やむを得ず廃棄する際には他の家庭ごみと区別して出しましょう。